

検討すべき事項（イメージ）

1. 小中一貫教育の目的

- ・ 現行制度化での小・中の接続にはどのような課題があるか。
- ・ 小中一貫教育で想定されるメリットは何か。

2. 現状の小中一貫教育の取組の成果・課題の分析

- ・ 主な成果・課題や、好事例に見られる特徴的な取組としてどのようなものがあるか。
- ・ 小中一貫教育で想定されるデメリットは何か。それらに対してどのような対応がなされているか。

3. 小中一貫教育の制度設計の基本的方向性

- ・ 小中一貫教育を学校制度に位置づける意義・目的は何か。
- ・ いわゆる施設一体型・分離型の扱いをどう考えるか。
- ・ 設置義務や就学指定との関係をどう考えるか。
- ・ 小学校・中学校段階に対応した教育課程の区分の在り方、教育課程の特例の在り方についてどう考えるか。
- ・ 教科担任制の導入など教員組織の在り方についてどう考えるか。
- ・ 既存の学校種（小学校、中学校、高等学校、中等教育学校等）との関係をどう考えるか。

4. 小中一貫教育の推進方策等

- ・ 国、都道府県、市町村それぞれの役割についてどう考えるか。
- ・ 教職員人事・定数面や施設整備面での支援策はどうあるべきか。
- ・ 地域と共にある学校づくりとの関係をどう考えるか。
- ・ 小中一貫に関する学校評価の在り方についてどう考えるか。
- ・ 小中一貫教育学校（仮称）の制度化と、今後の学制改革との関係についてどう考えるか。
- ・ 小中一貫教育学校（仮称）の制度化に伴う教員免許制度の在り方についてどう考えるか。

※小中一貫教育学校（仮称）の制度化に伴う教員免許制度の在り方については、
教員養成部会で審議（検討状況を適宜共有）。